

これって どうなの??

ごみ箱編

【護

美箱」という名称を、ご存じだろうか。私が幼いころは、よく目にしたものだ。蓋付きの木箱に書かれた「護美箱」の文字を、母が漢字にルビをふつてくれた童話を読むのが日課だった私は、「ごみばこ」と読めたときの嬉しさを今でも覚えている。

いつしか「護美箱」は消え、町内

いくら「金持ちイケメン・高学歴・高身長」であつたとしても……



「ゴミのポイ捨て野郎は100年の恋もさめるというものです」

イラスト／安彦麻理絵

にごみ集積所が設置されるようになった。町には、スチール製のごみ箱が設置され、自動販売機が普及してからは、ペットボトルや缶のごみも増加。ごみ箱にはごみが入りきれないごみが周囲に散乱した。いや、町のいたる所にごみが投げ捨てられるようになった。「護美箱」は当て字だと思うが、

「美しさを守る箱」という意味は、今の「ごみ箱」とは違うように感じる。私見ではあるが、「護美箱」は美しい環境を守るために、ごみをきちんと始末する箱であり、「ごみ箱」は不要となったごみを、捨てる箱。

てたりできないはず。かのゲーテは、「市民の義務」という4行詩に、「めいめい自分の戸の前を掃け、そうすれば、町のどの区も清潔だ。めいめい自分の課題を果たせ、そうすれば、市会は無事だ」と書いた。平凡な言葉だが、一人ひとりの行為が、町を、市を、県を、日本を美しくする力となることを示す意義深い言葉である。〈事務局長 山橋由貴子

のんちゃんの おすすめスポット紹介

神社仏閣編



良縁を「招いて」くださいますように♡

みなさん、今年もどうぞよろしくお願いいたします。唐突ですが、今年こそは良いパートナーを見つけないか…。今回は、「縁結び」にご利益のある東京浅草の今戸神社を訪れました。招き猫発祥の地ともいわれ、拝殿には大きな招き猫。境内にはあちこちに猫グッズが置かれているかわいい神社です。「縁結びの会」というお見合いの会も開催しているとか。おみくじは末吉でしたが、果たして今後のご利益やいかに？

今戸神社：東京都台東区今戸1-5-22（浅草駅より徒歩15分）



大根と巾着がシンボル

今戸神社と同じ「浅草名所七福神」の一つ、待乳山聖天にもお参り。ここではなんと、本堂に「大根」をお供えします。大根は迷いや怒りなどの「心の毒」の象徴。それをお供えすることで、聖天様が毒を清めてくださいます。待乳山聖天のもう一つのシンボル「巾着」は財宝を表し、商売繁盛・事業繁栄のご利益が。「小さな親切」運動のますますの発展を祈願してきました。

待乳山聖天：東京都台東区浅草7-4-1（浅草駅より徒歩10分）



お供えした大根は、1月7日の「大根まつり」でふるふき大根にしてふるまわれる

新春 読者プレゼント！ 今戸神社の招き猫を2名様にプレゼントいたします。詳細は、17ページをご覧ください。